



RAN記者会見 登壇者経歴

「米メキシコ湾岸住民、日本の金融機関にLNG施設への支援停止を要請」

フアン・マンシアス(テキサス州カリゾ・コメクルド族チェアマン)



米国テキサス州プレインビュー出身。カリゾ・コメクルド族の両親の長男として生まれ育つ。インカーネイト・ワード大学で牧会学の修了証、テキサス工科大学で政治学と社会学の学位を取得。ビジネスリーダーとしての経歴を持ち、金融機関や保険会社の経営に携わった経験を有する。アメリカ先住民「テキサス州キカプー族伝統民族(The Kickapoo Traditional Tribe of Texas: KTTT)」の部族行政補佐官、「カリフォルニア州スコッツバレーバンドのポモ・インディアン族(The Scotts Valley Band of Pomo Indians: SVBPI)」および「テキサス州アラバマ＝コウシャッタ族(The Alabama Coushatta Tribe of Texas)」の部族行政官として指導的役割を担ってきた。

ベッカ・ヒノホサ(南テキサス環境正義ネットワーク共同創業者)



リオ・グランデ・バレー出身。テキサス州ブラウンズビルを拠点に活動するアーティスト。コミュニティ・オーガナイザーでもある。家族は同地域が「テキサス州」になる前から数世代にわたって、リオ・グランデ川沿いやメキシコ湾沿岸沿いの地域に住んできた。ノース・テキサス大学で地理学と地質学の学士号を取得。過去14年間にわたって、石油・ガス採掘、2010年のメキシコ湾原油流出事故、山頂除去採掘(MTR: Mountain Top Removal)、移民正義、気候正義など、様々な問題に関するコミュニティのキャンペーンや市民的不服従行動のために、アートを通じて人々と連携する「アートビルド」活動を推進してきた。特に、国境地域の米国メキシコ湾岸コミュニティにリ

ソースをもたらすことに関心を持ち、あらゆる年齢の人々と共にアートビルドを行うことにインスピレーションを受けている。

ディナ・ヌニェス(南テキサス人権センター シニア・オーガナイザー)



メキシコ・タマウリパス州マトモロス出身。31年間にわたりテキサス州ブラウンズビルで暮らす。自身の女性としての人権が侵害された経験から支援団体に出会い、過去21年間にわたり人権推進者として活動している。コミュニティを組織化し、人々が自分たちの人権を認識し、それを守るための活動を行い、国境地域コミュニティの尊厳、平等、正義の擁護に取り組んでいる。2018年には、「沿岸地域コミュニティの隣人(Neighbors for the Coastal Community)」委員会が、環境、水、空気、土地、特に家族の身体的健康を守るため、また仕事への影響を懸念して、石油・ガス精製会社3社、アノーバLNG(Anova LNG)とリオ・グランデ LNGを提訴した。

地域の人々は生計を観光業と漁業に依存しているため、気候変動は、移住、雇用、住宅、インフラ、汚染食品などの面で、人々に影響を与える。環境保護は、この気候変動を最小限に

抑えるのに役立つ。また、上記企業によるブラウズビル地域への影響に関するワークショップを開催し、危機から脱却するためのカリキュラムに参加した。ヌニェス氏は、テキサス州ブラウズビル市とキャメロン郡で、6月16日を「国際家事労働者の日」と認定する2つの宣言を実現する一助となった。

現在、氏は近隣住民とともにリーダーとして活動し、南テキサス人権センターで勤務している。同センターは、給水所、行方不明移民の捜索と救助、遺体の身元確認を通じて命を救うことを使命としている。ヌニェス氏は同センターの創設者であり、11年間ボランティアとして携わっている。また、作家サークル「Malcriadas Fronterizas」の創設者でもあり、女性労働者や虐待被害者の物語を共有するために執筆活動を行っている。真実の物語を伝えることで、女性移民労働者を支援し、公正な労働と環境正義に向けた変容に貢献している。

ルース・ブリーチ (RAN 気候変動 & エネルギー担当 シニア・キャンペーナー)



米環境NGOレインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)で、世界的なメタンガス拡大に焦点を当てた活動を担当。化石燃料の採掘阻止を目的に、金融と企業責任に関するキャンペーンの組織化、化石燃料インフラの影響を受ける最前線のコミュニティへの支援、全米の草の根ネットワークを対象とした直接行動トレーニング、銀行や保険会社とのエンゲージメント(対話)などに取り組んでいる。また、米国40州および10カ国以上のリーダーを対象にトレーニングを実施し、キャンペーンを支援している。学術誌や多数の報告書の共著者でもある。

川上 豊幸 (RAN 日本シニアアドバイザー)



経済学博士。専門は国際環境経済学。聖心女子大学現代教養学部国際交流学科教員、NPO 法人 AM ネット理事、熱帯林行動ネットワーク(JATAN)運営委員。2005年にRANの日本代表として事務所を設立し、豪州タスマニアの原生林保護に取り組んだ。その後、インドネシアの熱帯林保護活動に取り組み、森林と森林に依存して生活する人々への悪影響是正に向けて、紙パルプやパーム油業界、金融業界への働きかけを行っている。2023年12月より現職。

資料はこちらからダウンロード
いただけます。

レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN) 日本代表部
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-11-204 | Japan.ran.org

